

久須夜ヶ岳 618.7m

2022年7月25日

ポンポン山雑感

三鍋敏郎

若狭湾の地図を見ていると内外海半島の先端に久須夜ヶ岳がある。ほぼ山頂までエンゼルラインの道路が上がっており、登山としての面白さに欠けるが、蘇洞門という名勝絶景が長崎にあるので、山下りも面白いと考えた。

車でエンゼルラインの終点駐車場まで行く。ここからの展望は素晴らしく開放感がある。ここから山頂に登ったが10分程度で登れる。巨大アンテナがあり樹木に囲まれ展望は殆ど無い。

蘇洞門登山口まで下り歩き始める。海岸線近くの山々は不思議と落葉樹は少なく常緑樹が多いように思う。ここも同じで常緑樹の葉が密生し登山道は思ったよりも暗く、風の抜けが悪くかなり蒸し暑い。

道は緩やかに下りコルをこえP509mを越えると泊乗越に出る。ここからしばらく急斜面の下りが続き、標高360mあたりからトラバース道に変わるが、尾根道になると地形図で見ると、何故か急坂な下りが続いている。



標高50m近くまで下ると蘇洞門あたりが見えてくる。急な階段を下ると岸壁に囲まれた狭い入江に出る。入江の左には滝があり、飛び散る水滴が顔などに降り注ぎかなり涼しく感じる。船着き場まで下ることができるが断崖絶壁が迫りあまり開放感はないが、大門小門の間から観光船の姿が見えた。

滝しぶきの掛かる辺りでランチタイムとしだが、日陰がなく結構暑い。

食事をしながら見上げると大門小門の崖にオレンジ色のカンゾウの花が咲いているが遠くて種類が確認できない。左の崖にはピンク色のミソハギの花の群生があるが高くて近づかず、滝側の花をなんとか撮影出来た。

★メンバー三鍋・他4名

★コース 登山口から往復4時間30分程度